

八尾市はつらっプラン 施策推進のための数値目標【令和6年度実績】

指標項目	R元(2019)年度 プラン改定時	R4(2022)年度 状況	R5(2023)年度 状況	R6(2024)年度 状況	目標達成に向けた取り組み実績	R8(2026)年度 目標値
基本目標Ⅰ：男女共同参画社会の実現に向けた意識の醸成						
男女共同参画が実現していると思う市民の割合(%) ※八尾市民意識調査「あなたは性別に関わらず男女が互いに認め合える社会が実現していると思うか。」	33.2	28.4	27.7	28.5	・男女共同参画センター「すみれ」(以下「すみれ」)を拠点に、男女共同参画にかかる情報発信や啓発事業を実施した。 ・民間複業人材プロジェクトを活用し、アドバイザーから「すみれ」の活性化に向けた方策の提案を受け、令和7年度からの新たな取り組みに活かした。 ・公民連携事業として、民間企業と連携し、男女共同参画にかかる市民向け講座を実施した。	35.0
八尾市男女共同参画センター「すみれ」の認知度(「知っている」と答えた人の割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	7.9	—	—	—	・昨年度に引き続きSNSを活用した情報発信を行った。 ・女性に関する運動期間に合わせ、「すみれ」に関するWEB広告の掲出を行い、「すみれ」の周知に努めた。 ・公民連携によるセミナーの開催、庁内連携による取り組みを通じて「すみれ」の認知度向上に向けた取り組みを行った。(図書館でのクイズラリー、ひゅーまんフェスタへの出展等)	50.0
基本目標Ⅱ：あらゆる分野における女性の活躍推進						
教育・保育給付の確保方策(2号・3号)	5,706	6,513	6,694	7,002	・公民連携により保育枠の拡大を図りつつ、待機・保留児童対策に取り組んだ。	6,729
市の審議会、委員会などにおける女性委員の登用の割合(%)	33.0 (R2.3.31)	35.0 (R5.3.31)	35.5 (R6.3.31)	34.9 (R7.3.31)	・審議会の女性委員の登用について、審議会等の設置等に関する要綱に女性委員の登用率目標を明記し、積極的な委員参画を推奨した。	40.0
女性の参画がない審議会等の数(休会中を除く)	7の審議会等 (R2.3.31)	8の審議会 (R5.3.31)	7の審議会 (R6.3.31)	6の審議会 (R7.3.31)		0
市の男性職員の育児休業取得者数及び部分休業取得者数(人)	23	31	40	31	※下記は、令和6年度の主な取組内容を記載しており、特定事業主行動計画推進委員会を経て公表を予定しています。 ・育児休業の取得、期間の延長については同一の子について原則1回(R4.10月の改正後は、取得は2回まで。また、子の誕生日から57日間以内に育児休業も取得は2回まで)であり、特別な事情がある場合のみ再取得や期間の延長ができることとなっているが、平成29年10月から保育所等に入所の申込をしているが入所できない場合等についても認められるようになったため、職員課から該当する職員に連絡を取り、希望する職員には制度の説明を行い利用を促した。 ・所属長が、出産を控えている全ての職員と面談の機会を持ち、育児支援ハンドブックを直接手渡し、各種両立支援制度を説明するとともに本人の状況を把握し、育児参加と職業生活を両立できるよう、職場体制を調整する等の支援を継続実施した。	前年度比増
市の職員の出産補助休暇取得者率(%)	85.7	83.3	78.4	82.5		100.0
市役所の女性管理監督職[監督職級以上]の割合(%)	36.6	36.4	36	35.7	・育児休業中のサポートとして、メンター制度を継続している。また、休業中の職員を対象とした交流会を開催し、育休から復職に向けたより具体的な意見交換会の場とするために、育休から復職した先輩職員にも参加してもらった。 ・働き方を見直す取り組みとして、時差勤務制度や在宅勤務の試行実施等を推進した。	42.5
小・中学校の管理職(校長、副校長、教頭)に占める女性の割合(%)	21.8	24.1	24.1	23.0	指導主事等を含めた女性の管理職登用並びに女性のミドルリーダーの育成に努めている。	30.0
(参考指標)	小学校・義務教育学校 教頭 46.4% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 14.3% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 6.7%	小学校・義務教育学校 教頭 42.9% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 28.6% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 0%	小学校・義務教育学校 教頭 35.7% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 35.7% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 0%	小学校・義務教育学校 教頭 32.1% 小学校・義務教育学校 校長・副校長 35.7% 中学校・義務教育学校 教頭 6.3% 中学校・義務教育学校 校長・副校長 0%		
基本目標Ⅲ：誰もが安心して暮らせる社会づくり						
乳がん検診の受診率(%)	22.1	15.3	15.3	15.2	・集団検診でのセット検診の充実、地域での検診の実施等で利便性の高い検診を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。	50.0
子宮がん検診の受診率(%)	27.2	16.8	17.0	17.3	・乳幼児健診と同時実施の保育付の子宮がん検診(集団検診)を実施した。 ・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業を実施し、特定の年齢への無料クーポン券や特定の年齢層への受診勧奨はがきを送付した。	50.0
配偶者からの暴力を受けたことがある人の割合(配偶者等からの暴力について「されたことはない」人及び無回答の人を除いた割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	女性 29.9 男性 12.8 ※交際相手からの暴力を含む	—	—	—	・困りごとを抱える女性が、「すみれ」での各種事業につながるよう生理用品の配付を継続して行っている。 ・庁内関係課による八尾市ドメスティック・バイオレンス対応連絡会を開催し、適切な連携の下で組織的に対応することにより、相談体制の充実を図った。さらに、DV被害者等について、警察署や大阪府等の関係機関との連携により一時保護を行った。	女性 15.0 男性 8.0
DV被害に対する相談窓口の認知度(「相談窓口を1つも知らない」人の割合)(%) ※男女共同参画についての市民意識調査	14.2	—	—	—	・市政だより、ホームページ、情報紙、チラシ、啓発カードの配架等、多様な媒体によりDV防止のための広報・啓発を行った。	5.0